

## 評価細目の第三者評価結果（高齢分野）

## 支援の基本

特養1-①、通所1-①	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 入所前のアセスメントで利用者や家族の意向や心身状況、生活状況、環境について詳細にアセスメントを行い、各種職員が参画し、介護計画が策定されている。3か月ごとのモニタリングを行って、利用者をメリハリある生活ができるよう支援している。利用者一人ひとりに応じた生活リズムを支えるため、生活リハビリ、レクリエーション、クラブ活動、地域の方々との関わり、年間行事等を通じて、その人に希望に添った暮らしができるよう支援している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
訪問1-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ、自立した生活が営めるよう支援している。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養1-②、通所1-②、訪問1-②	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点： 利用者の思いや希望を、時間をかけて聞く機会を設けている。例えば、おやつに時間、入浴時、夜間帯等、利用者を職員が1対1で職員がコミュニケーションを取れる機会となるので、なるべく利用者に寄り添い、傾聴の姿勢で接し、支援に活かしている。意思表示が困難な人には表情や身振り動作等から思いを把握するよう努めている。接遇研修を実施し、各種職員会議で現状と課題を話し合い、利用者が気軽に話しやすい関係性を築けるよう努めている。</p>	
改善できる点/改善方法： 理想を高く掲げ、現状の支援に留まることなく、たゆまずケアの質の向上を目指して、業務にあたる姿勢が感じ取れる。掲げた理想を降ろさないよう今後も、利用者一人ひとりのニーズオリエンテッドなケアに邁進していただきたい。今後とも職員のコミュニケーション技法のさらなる標準化に向けた取り組みの継続に期待する。	

## 身体介護

特養 2-①、通所 2-①、訪問 2-①	第三者評価結果
入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者の心身の状態や意向に合わせて安全で心地良い入浴ができるよう各階に浴室を設置し、浴槽も機械浴、一般浴、個浴等各種類が用意されている。また床暖房にする等入浴環境も整えている。入浴の判断には看護師と連携して行っており、皮膚観察を行ったり、上がり湯に保湿剤を用意し、スキンケアや水分補給も行っている。体調不良や外出等で入浴できなかった場合や入浴を拒まれた場合については入浴日以外の対応も可能である。また入浴回数は週2回を基本としているが、希望に応じてそれ以上の入浴も可能である。人材確保が困難な時代であるが、入浴は利用者にとって楽しみのものであるので、今後とも更に時間を取って支援できるよう工夫に向けた取り組みの継続に期待したい。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 2-②、通所 2-②、訪問 2-②	第三者評価結果
排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>トイレは広く、清潔に保たれている。掃除は業者に委託する他、汚れた場合は職員が随時、掃除を行っている。排泄の自立支援に向けて努めている。入所者一人ひとりの状態に合わせたおむつやパットが用意してあるが、常に適しているかどうか検討する等して見直しを行っている。また入居者に合わせた排泄リズムについてチェック表を用いて把握し、さりげない言葉がけで適時トイレ誘導を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 2-③、通所 2-③、訪問 2-③	第三者評価結果
移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>自走式、介助式、チルトクライニング式等各種車いすや歩行器が用意されており、随時点検が行われている。廊下の置物のチェックをする等して通路の幅を確保し、見守り等安全な介助に努めている。利用者の心身状況に応じた移動用具を使っていただくため、アセスメントを行い、会議にて検討している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養 2-④、通所 2-④、訪問 2-④	第三者評価結果
褥瘡の発生予防を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>褥瘡やその発生予防についての研修を実施し、職員周知に努めている。利用者の身体を清潔に保ち、必要に応じて定期的な体位交換や栄養管理を行う等、総合的にケアを実施し、褥瘡予防に努めている。発赤ができた場合等でも、独自のチェックシートを使用して早期発見に努め、早期に対応してい</p>	

る。また無圧マットレスやエアマット等も活用している。
改善できる点/改善方法：

## 食生活

特養3-①、通所3-①、訪問3-①	第三者評価結果
食事をおいしく食べられるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>誕生日には、利用者の希望を聞いてメニューに反映させている。また季節の食材をメニューに取り入れる等季節感を味わっていただいている。適時適温の食事を提供している。広いバルコニーではバーベキュー大会や鰻の日を設けたり、また行事等で鮎や秋刀魚等を炭焼きで提供する日を設けている。嗜好調査も実施して利用者の意向に沿った食事が提供できるよう取り組んでいる。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養3-②、通所3-②、訪問3-②	第三者評価結果
食事の提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者の状態に応じた栄養マネジメントを実施しており、栄養士をはじめ各職種が連携し、提供量や食事形態、補助食品の必要性等利用者一人ひとりに合わせた食事を提供している。自助具に配慮し、自力摂取ができるよう声かけしたり、皿の位置を食べやすいように替えたりする等して支援している。食事形態も普通食、ソフト食、刻み食、ペースト食等の様々な形態を用意している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養3-③、通所3-③、訪問3-③	第三者評価結果
利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>歯科医が定期的に来訪するので、診察を受ける体制ができています。また口腔ケアや嚥下指導も受けている。食前の口腔体操を実施し、口腔ケアについてのマニュアルも整備し、口腔内の清潔、口腔機能の保持、虫歯、歯周病の予防、嚥下、誤嚥性肺炎等についての研修を行い、職員間で共有化し、美味しく楽しく食事ができるよう支援している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## 終末期の対応

特養 4-①、訪問 4-①	第三者評価結果
利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>豊富な看取り体験があり、経験知の蓄積がある。重篤化した場合は、医師が家族に説明し、今後の方針を話し合っている。終末期においては個室で対応し、家族が付き添いで宿泊できる環境が整っている。職員会議で看取りについての学びを深めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 認知症ケア

特養 5-①、通所 4-①、訪問 5-①	第三者評価結果
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>認知症ケアについての研修については積極的に参加し、職員周知に努めている。定期的にモニタリングを行い、利用者の日常生活能力の評価を行っている。周辺症状がある場合、観察をして、行動の背景を探り、症状に合わせて対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>集団でのケア体制であり、利用者一人ひとりに対する対応が必ずしも十分とは言えない状況がある。人材確保が困難な昨今、現職員で利用者一人ひとりに目を向けて十分に対応して行くことができない状況もあるが、メリハリをつけた人員配置を行う等工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>	
特養 5-②、通所 4-②、訪問 5-②	第三者評価結果
認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入所者が落ち着いて生活ができるよう居室には馴染みのものを持ってきていただいている。薬品や洗剤等危険物は異食を防ぐため、管理して保管している。利用者の行動については制限せず、自由に生活をしていただいている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 機能訓練、介護予防

特養 6-①、通所 5-①、訪問 6-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：  施設サービス計画に機能訓練計画を位置づけ、利用者一人ひとりのプログラムを作成し、機能訓練の目的を明確にして、機能訓練指導員が専門で対応してリハビリを行っている。機能訓練の状況を職員間で共有している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

## 健康管理、衛生管理

特養 7-①、通所 6-①、訪問 7-①	第三者評価結果
<p>日常の健康管理が適切に行われている。</p>	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：  健康管理に関するマニュアルを整備し、日々のバイタル、食事量、排泄状況等チェックし、申し送りや会議等を通じて職員間で共有している。医療面の状況については看護師から申し送りを行っている。協力医療機関は連携が取れており、入所者の安心につながっている。施設サービス計画に看護計画を取り入れ、職員間で周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
特養 7-②、通所 6-②、訪問 7-②	第三者評価結果
<p>必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。</p>	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：  朝、夕の申し送りで、観察が必要な人について状況を伝えている。緊急時のマニュアルや連絡体制を職員間で共有し、また各フロアにおいてマニュアルをわかりやすくフローチャート化して、目につきやすいように掲示してある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
特養 7-③、通所 6-③、訪問 7-③	第三者評価結果
<p>感染症や食中毒の発生予防を行っている。</p>	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：  感染症や食中毒に関するマニュアルがあり、感染症の研修を行っている。フロアには吐瀉物対応の使い捨てグッズが置く等して緊急時等に、速やかに使用できるよう準備してある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 建物・設備

特養 8-①、通所 7-①	第三者評価結果
施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>バルコニーや共有スペースは広く、開放感がある。廊下も広く、移動がしやすい。また所々にベンチが設置してあり、くつろぎの場所として活用されている。談話スペースや来談者用のスペースがあり、家族が面会に来た時に、プライバシーが守られるよう配慮されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 家族との連携

特養 9-①、通所 8-①、訪問 8-①	第三者評価結果
利用者の家族との連携を適切に行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>家族になるべく来訪していただけるよう、行事案内をしている。家族会があり、定期的に清掃で協力をいただいている。家族の来訪時に声かけに努め、要望や意見等伺っている。また利用者の体調の変化があった時は、その都度家族に電話連絡をする等連携を取っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## サービス提供体制

訪問 9-①	第三者評価結果
安定的で継続的なサービス提供体制を整えている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	